けんせつ北部
定価三十円（購読料は組合費の中に含まれています。）
発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話　豊島（3986）2471
北　（5390）6021
板橋（3963）5325
練馬（3825）5522
発行人　川合　正人
発行予定日　毎月４回
1日、9日、17日、25日

不払い・融資・くらしなんでも相談会

10月の法律相談、税金相談はいずれも26日（水）です。各日13：30から１人30分、４組の相談枠を設けております。※30分を超える相談は後日有料での相談となります。
要予約03－3986－2471豊島支部事務所

秋の仲間づくり運動　中間報告

９月４日の出陣式を皮切りに　多くの持ち寄りで好スタート

【組織部発】秋の仲間づくり運動のテーマは「コロナで困っている仲間のピンチを救おう」です。豊島支部では新型コロナウイルスの感染の拡大で、より多くの仲間が休業を余儀なくされました。豊島支部では独自に新型コロナウイルスに感染した組合員のための「お見舞金」制度を創設しました。※詳細は豊島支部ホームページにて
この他、豪華景品が当たる秋の拡大キャンペーンもやっています。この機会にぜひ豊島支部ＬＩＮＥ@に登録しご応募下さい。

南池袋分会

【新井睦子・南池袋】南池袋分会は９月４日の日曜行動は、10時に分会センターに組合員13人、仁田書記と本部の山内書記を含め15人集合し、立て看板・ポスター貼りとチラシ折りに分かれて行動しました。ポスター貼りには、今回初めて参加してくれた組合員さんもいました。
12時から始まった出陣式の決意表明では「最後まであきらめず、拡大達成がんばろう」のスローガンと、身近で使えるものということで「調味料セット」の訪問グッズを山川支部常任が発表しました。
現在、月間目標７人のところ３人の加入となりました。目標達成に向けて全員で最後まで頑張っていきます。

南池袋分会の日曜行動

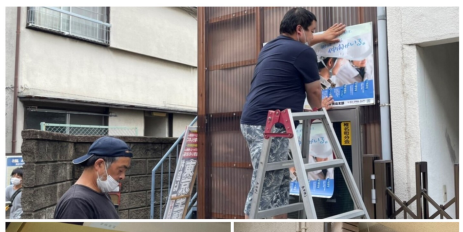
さくら分会

【野本陽子・さくら】さくら分会では９月４日日曜日、10時からセンターに10人が集まり、打合せを終えて車３台に分かれ、駒込、巣鴨、西巣鴨方面に向い行動しました。
全体で看板16本、ポスター13枚を取り付けることができました。皆さんの頑張りで看板が足りず支部へ追加注文しました。
12時からの拡大出陣式に間に合うように作業を終えてセンターに戻りました。
決意表明では分会スローガンと拡大グッズの紹介を宮島分会長が行いました。
出陣式後に今後の行動について話合い、達成にむけた意思統一をしました。

さくら分会は看板が足りず追加注文

椎名町分会

【田中承宏・椎名町】９月４日にの日曜行動は、ポスターと看板たてと並行して、組合員訪問を行い、近況の聞き取りも行いました。コロナ禍によって顔が遠のいている仲間もいたので、非常に有意義な行動になりました。
拡大出陣式では各分会で若手の参加があり、全世代で行動ができているんだなと実感しました。
今回のオリジナル拡大グッズはペン型ライトを用意し、新加入者だけではなく拡大行動に参加してくれた仲間にもプレゼントしていく予定です。
積極的な行動で拡大目標の達成を目指して頑張ります。



椎名町分会の日曜行動

かなめ分会

【川村雅彦・かなめ】かなめ分会はセンターの出窓の模様替えと看板・ポスター張りを行いました。若手の参加者も増え、秋の拡大も達成まであと１人と好調です。課題はまだまだありますが今後が楽しみです。

かなめ分会のセンターが賑やかに

池袋分会

【安藤慎一・池袋】９月４日（日）の宣伝行動は分会センターに６人が集まり、看板の取付けとポスター貼りを２班に分かれて行いました。
秋の目標は６人のところ２人ですが、オリジナルタオルを準備して、後半に向けて訪問行動を中心に取り組み、達成に向けて頑張っていきます。

池袋分会の日曜行動

上池袋本町分会

【市川和成・上池袋本町】９月４日（日）上池袋本町分会では、分会センターに12名の組合員と駒谷書記が集まりました。
地域に看板とポスターを設置して回り、お礼に土建タオルなどを配布。その間に待機組はセンターで拡大用チラシの折り込みです。
午後からはＷＥＢで支部と全分会を繋ぎ拡大出陣式が開催されました。
「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために！」をスローガンに頑張ります。

上池袋本町分会の日曜行動

つぶやき

先日、医薬品製造の特集記事を読んで驚いた。かつて国内でも原材料を生産する企業が少なくなかったが、現在では全工程を一社で完結できる企業は世界中でほとんどない。もちもん、輸入大国日本もその例に漏れない。
医薬品の製造行程は大本（おおもと）となる「出発物質」と呼ばれる化学物質が必要でこれらを合成して「原薬」ができる。次いで飲みやすさや効能を高める添加剤を加えて製剤化し医薬品が完成する。
医薬品の原材料である「原薬」は現在そのほとんどを中国、韓国、インドから輸入している。その「原薬」の基となる「出発物質」なる化学物質を作っているのは、世界中で中国の一社しなかいということがおどろきだ。すなわち、大本の独占は、価格や流通をしはいされかねない危険性をはらんでいる。
政府は、令和２年に医薬品の「原薬」や原材料の生産の国内回帰を促そうと安定供給支援事業に着手したが、海外依存に比べてコストが10倍に膨らむリスクがあり、とりわけジェネリック製薬メーカーは、コスト削減が生命線となるため海外製に依存してしまうジレンマがある。この状態は、中国のさじ加減で国内の患者の命が左右され、安全保障問題の危険性を考えなくてはならない。【Ｓ・Ａ】

インボイス問題シンポジウム

売上高１千万円未満でも消費税の課税事業者に？

【税対部発】９月７日（水）にインボイス問題シンポジウムをとしま産業振興プラザにて開催しました。中小事業主を中心に41人が集まり、制度の問題点を学習し話合いました。消費税の仕組みを知るとどんな影響が見えてきます。

①消費税の課税種類

消費税には一般課税と、簡易課税の２種類があり、一般課税のメリットは機械などの高額な設備の仕入れや、外注費が多い場合に簡易課税より税額が低くなり、デメリットは帳簿の記載、請求書・領収書の保管が必要で消費税率毎に経費の仕訳けを行う必要があり、事務処理が煩雑といった点が挙げられます。

一方、簡易課税は売上高が5千万円未満であることが条件ですがメリットは事務処理が簡単で、業種や仕入れ状況により税金が安くなり、デメリットは業種や仕入れ状況によっては高くなる点が挙げられます。

②「仕入れ税額控除」

次に、納税額を左右する重要な仕入れ税額控除について説明します。

基本的に納付する消費税は、皆さんが仕事で得た売上に含まれる消費税を、翌年の3月31日までに国に納めなくてはなりません。

しかし、皆さんが売上を得るために材料費などの経費に含まれる消費財があるはずです。その支払った消費税を、得た消費税から差し引くことを「仕入れ税額控除」といいます。

これが一般課税では実際に皆さんが支払った消費税額となり、簡易課税では業種毎にみなし仕入れ率で計算を行います。

③ここが問題

②で説明した仕入れ税額控除が、消費税の課税事業者で尚且つインボイスの登録事業者に支払った消費税しか仕入れ税額控除が認められません。

そうなると、一般課税の上位企業は外注の下請け業者に対して、非課税事業者であれば課税事業者になるように求めてくるか、仕入れ税額控除が認められない分の値引きを求められる可能性があります。

売上高５００万円の手間請け職人であれば簡易課税でも約20万円の消費税を支払うことになります。

今すぐ反対の声を！

原田　陽弘
（常任執行委員）

原水爆禁止世界大会報告

今回、初めて原水爆禁止世界大会に参加させて頂きました。

強く印象に残っているのは原爆ドームです。小学校の教科書でしか見たことのなかった原爆ドームという戦争の傷跡を目の当たりにした時の気持ちを言葉で言い表すことはできませんでした。

分科会では坂田雅子監督の「失われた時の中で」の鑑賞会に参加しました。この映画はベトナム戦争で、アメリカ軍が猛毒のダイオキシンを含んだ枯葉剤を散布し、その影響により重度の障害を持って産まれてきた子供たちを育てる家族のドキュメンタリー映画でした。そんな子供たちの面倒をみる家族の姿に涙が溢れてきました。

そして、未だに核兵器禁止条約に日本が批准していないこと、８月6日の平和記念式典で広島出身の岸田首相の挨拶で、この核兵器禁止条約について触れなかったことも疑問でなりませんでした。

このような貴重な体験ができたのも、豊島支部の代表として送り出して下さった皆さんのおかげです。改めて感謝申し上げます。

遠藤　正行
（副執行委員長）

今回、初めて原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。

開会総会にリモートで参加された浜矩子さんの連帯挨拶のなかで「私たちの行動は現代の予言者だ、皆様に栄光あれ」の言葉に勇気づけられた気がしました。

国際会議では日本と韓国の被害者の他に核実験で被害者となった方々の討論が行なわれ、被爆の苦しさや今でも行なわれている戦争への怒りを訴えました。

フィールドワークでは遺跡巡りに参加し、現地の方の説明を聞きながら原爆ドーム、元大正屋呉服店、広島平和都市記念碑などを訪れました。

中でも心に残ったのは、核兵器から子どもを守っている「嵐の中の母子像」です。この像は平和記念公園を訪れる人を玄関口といえる平和大通りの中心で出迎えてくれています。この像見ながら目には涙が溢れ、核兵器が世界を滅ぼす前に、核兵器を廃絶しようと思いました。

※紙面の都合上、一部略しております。全文はホームページに掲載予定です。

参加者の声

土多　松雄
（大工・さくら）

9月7日（水）に消費税インボイス問題シンポジウムに参加しました。

私は大工の一人親方として長年に亘って外注の職人仲間とともに仕事をしてきました。

このインボイス制度は煩雑で理解しにくい。今後、非課税の小さい材料店で買った経費や、自動販売機で買った飲み物の経費はどうなってしまうのか。

また他の参加者からも「外注の免税事業者にどう話したら良いのか分からない」、「長い付き合いでも切るしかない」など不安の声が聞こえました。

このインボイス制度のような十把一絡げ的に低所得事業者から徴税を行う行政は絶対反対です。

シンポジウムの後に、現場であった職人達にインボイス制度の話をしてみても、そのほどんどが何も知りません。それが現場の実態です。

こんな大切なことが、一番影響を受ける零細事業主に対してしっかりと周知されていないことにまた怒りが沸いてきます。

もっと集会や駅頭宣伝などを行い、多くの仲間にこの理不尽な制度を広め、反対の世論を築こう！

豊島支部の仲間を紹介する質問形式の新連載企画です

豊島のなかま ⑤

土橋　弘典（副執行委員長・さくら）

豊島支部の副委員長を務める傍ら、東京土建本部の中央執行委員で後継者対策部長を務めています。

後継者世代の育成は豊島支部に限らず、全都で取り組む重要な課題です。仕事や子育てと多忙な世代に合った運動を展開し、若手の結集に力を入れていきたい。

～～～～～～～～～～

質問1、出身地は？

・東京度文京区

質問2、趣味は？

・音楽鑑賞（イエローモンキー）とゴルフ

質問3、組合に入って良かったことは？

・たくさんの人と知り合えたことで、仕事以外のことも色々と学べたこと

質問4、もし1千万円もらったら何に使う？

・住宅ローンを返済して余ったらクラウンハイブリッドを買いたい

分会自慢
≪椎名町分会≫

今回ご紹介するのは東長崎駅前商店街にある鉄板焼きのお店「山海苑」《豊島区南長崎5-17-14・電話03-5982-8355》です。40年弱の歴史を持つ、東長崎エリアきっての人気店です。

名物１ポンドステーキ

1階はお好み焼きやもんじゃ焼き、2階は焼肉が楽しめます。

お好み焼きはいろんな種類があり、飽きさせません。価格もリーズナブルで大満足です。もんじゃ焼きは自分で味付けすることができ、和気あいあいと楽しむことができます。

焼肉はうまみたっぷりの本格派。特に和牛カルビはたれの味付けも相まって、ご飯も進みます。

そして、山海苑名物といえば、ボリューム満点の1ポンドステーキです。見た目は豪快そのものですが、肉質は柔らかく、別添えのわさびをつけると絶品です。一人で食べるには少し多いですが、大人数で食べるにはぴったりなメニューです。

個人的にはお好み焼きやステーキをみんなでワイワイしながら飲むのがおすすめです。地元ならではのアットホームなお店に来てみませんか。【田中　承宏・椎名町】